

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	埼玉県済生会加須病院	階数	地上7F
建設地	埼玉県加須市礼羽7番1 外62筆	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020年3月17日
敷地面積	41,380 m ²	作成者	黒木涼
建築面積	5,891 m ²	確認日	2020年3月17日
延床面積	22,878 m ²	確認者	久野聖人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	93%
③上記+②以外の	93%
④上記+	93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	2.5
温熱環境	3.1
光・視環境	3.2
空気環境	4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

機能性	4.4
耐用性	4.2
対応性	3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性	4.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	4.7
自然エネ	4.0
設備システ	2.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.8
汚染物質	2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

地球温暖化	3.2
地域環境	2.6
周辺環境	2.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・病棟は各病室十分な広さを確保し、建物中央に配置した光庭から自然採光を取入れ、室内環境・サービス性能に十分配慮した計画とした。 ・節水コマや節水型便器の使用、井水利用等、消費エネルギー量の削減に努めた。		
Q1 室内環境 ・病棟階に光庭を計画し、かつ病室の昼光率を十分確保することで、居住エリアの良質な光・視環境確保に努めた。	Q2 サービス性能 ・病室について、基準以上の広さ・天井高さを確保し、ゆとりある空間とした。 ・免震構造とし、十分な耐震性能を確保した。	Q3 室外環境(敷地内) ・エントランスホールに吹抜け、病棟階に光庭を計画し、風や光が通り抜ける豊かな中間領域の確保に努めた。
LR1 エネルギー ・病棟階に光庭を計画し、自然採光の確保に努めた。	LR2 資源・マテリアル ・節水コマ及び省水型器具を使用して、水資源の保護に配慮した。また、リサイクル材を2品目採用し、非再生資源の使用量削減に配慮した。	LR3 敷地外環境 ・駐輪場、駐車場、作業用駐車場を多数設置し、交通不可の抑制に努めた。また、日影規制に対して十分余裕のある計画とし、日照阻害の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
埼玉県済生会加須病院

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										3.8
Q1 室内環境										3.3
1 音環境						2.6	0.15	2.3	1.00	2.5
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	2.4	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						3.1	0.35	3.0	1.00	3.1
2.1 室温制御						3.3	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		大まかな空調ゾーニングに加え、用途により冷房・暖房の選択が可能。				4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.7	0.25	4.4	1.00	3.2
3.1 昼光利用						3.0	0.30	5.0	0.30	
1 昼光率		4床室:3.2%、1床室:1.8%				3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備		病棟階には光庭を設け、中央部分にも採光を確保している。				3.0	0.40	5.0	0.40	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		カーテンと庇を使用する。				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		多床室は各ベッド単位で各用途の照明調整が可能。				3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境						4.4	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策						5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		使用建築材料は全てF☆☆☆☆材料を使用する。				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙としている。				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	4.1
1 機能性						4.3	0.40	4.8	1.00	4.4
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		4床室:40㎡程度、1床室:14㎡程度				3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている。				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30	4.5	0.40	
1 広さ感・景観		病室の天井高さは2.5m。				3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画		パースを作成し、内装計画及び照明計画を十分に検討している。				5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		多数の各項目を満足するように設計している。				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						4.2	0.30	-	-	4.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						5.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		十分な耐震性能を確保している。				5.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		免震構造としている。				5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:ビニル床シート20年、壁:クロス20年、天井:化粧石膏ボード30年				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途:給水管、給湯管、汚水排水管、通気管:C以上Eは不使				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水型器具を採用。汚水貯留槽を設置、井水利用可能。				4.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスAとしている。				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		地域防災無線を設置し、ネットワーク機器用に無停電装置を設置。				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.8	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	4.6	0.50	
1 階高のゆとり		各階3.9m以上	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		1階:0.11、5階:0.20	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺環境に配慮した建物計画としている。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		中庭や吹抜けを設け、豊かな中間領域を形成している。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		外皮熱負荷抑制の高い計画としている。	4.7	0.20	-	-	4.7
2 自然エネルギー利用		光庭を設け、換気・採光を確保している。	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.92	2.4	0.50	-	-	2.4
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		普通合板、再生クラッシュラン、インターロッキング	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGs下地、OAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			2.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率に基づく換算スコア=3.2	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		駐輪場、駐車場、作業用駐車場を多数設置	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.9	0.40	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		日影時間4.0h-2.5h地域に対して、3.0h-2.0hの基準でも満足してい	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	埼玉県済生会加須病院	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.2	+	2.6	=	5.8 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.2
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.2
・駐輪場、駐車場、作業用駐車場を多数設置し、交通不可の抑制に努めた。また、日影規制に対して十分余裕のある計画とし、日照障害の抑制に努めた。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
・外構緑化指数が18%を示す規模の外構緑化を行い、緑地面積の確保に努めた。			

 :入力欄